

令和 6 年度

まちづくり懇談会実施結果報告書

(泉が丘地区)

宇都宮市総合政策部広報広聴課

令和6年度 第4回 まちづくり懇談会《泉が丘地区》実施結果報告書

この実施結果報告書は、まちづくり懇談会《泉が丘地区》における発言の要旨をまとめたものです。

1 開催日時 令和6年8月9日（金）午後7時00分～午後8時30分

2 開催場所 泉が丘地域コミュニティセンター

3 参加者数 31人（市出席者除く）

4 市出席者 市長，総合政策部長，広報官，地域まちづくり担当副参事，
東市民活動センター所長，道路建設課長，広報広聴課長

5 懇談内容

（1）地域代表あいさつ 泉が丘地区まちづくり推進協議会 会長

（2）市長あいさつ

（3）地域代表意見

No.	テ ー マ	所管課
1	元今泉 7 丁目公園安全設備の充実化に向けて	保健所総務課，公園管理課
2	泉が丘中学校の校庭内にある屋外トイレの新築を要望	学校管理課
3	宇都宮市福祉協議会に係る事業等の見直しについて	保健福祉総務課

（4）自由討議

No.	テ ー マ	所管課
1	新型コロナ特別定額給付金支給時期について	行政経営課
2	道路混雑の解消について	技術監理課
3	泉が丘中学校の校庭内にある屋外トイレについて	学校管理課

（5）来賓あいさつ

市議会議員 保坂 栄次 氏

市議会議員 佐藤 恭子 氏

（6）市長謝辞

■地域代表意見 1（要旨）

テーマ	元今泉 7 丁目公園安全設備の充実化に向けて
-----	------------------------

泉が丘西自治会にある元今泉 7 丁目公園には、地域の高齢者 75 歳以上の方が集合し、グランドゴルフ、輪投げなどやっている。集合している参加者が高齢者であり、参加者の健康を考えた時に避けられないのが、急病の発生或いは熱中症。急遽対応をしなくてはならない部分になり A E D 設置が無いことも気がかりである。

是非 A E D の設置と熱中症の場合に避難する涼しい場所がないため、避難できるようなプレハブ事務所の設置をお願いする。気温の上昇が叫ばれている中で、諸活動で年配者を中心に熱中症の発生が心配させるところである。

避難する場所としてプレハブ事務所が絶対的に必要だと考える。ランニングコストを含む行政の力で住み良いまち、ヒューマン的なものは私達がやりますので、ハード的なものをお願いする。解決出来たら更により良いまちづくりに一役買うところである。御理解と御協力をお願いする。

回 答	所管課：保健所総務課 公園管理課
-----	------------------

【市長】

A E D の設置であるが、「A E D の適正配置に関するガイドライン」におきまして、年齢を問わず多くの人が集まる施設などを、「A E D 設置が推奨される施設」としているところである。宇都宮市においては、令和 6 年 6 月現在、市役所また各地区市民センターをはじめとした 243 の市有施設の他、商業施設やスーパーなどの 124 の民間施設に「宇都宮市 A E D ステーション」として登録をして頂いている。

また、元今泉 7 丁目公園付近の A E D 設置施設であるが、宇都宮市東消防署、宇都宮市立泉が丘中学校などが、それぞれ約 300 m の距離にあり、宇都宮市ホームページの「まちかど情報マップ」において、A E D の設置状況を御確認頂く事が可能となっている。

また更に、市としては、民間施設に対して、市民が必要な時に A E D を御利用頂けるよう、A E D の設置や利用への協力を働きかけているところである。

今後もより多くの事業者に協力を頂けるよう努めるので、平時から「まちかど情報マップ」などで、設置場所や利用可能時間などについて、把握をして頂ければと思う。

有事の際には、迷わず御利用いただきたい。

また、市民が参加する体育行事、そして講習会等のイベントなどにおいても、緊急時に救命処置が出来るよう保健所総務課において、無料で A E D を借り受けできる「A E D 貸出制度」を設けている、こちら是非御利用頂きたい。

プレハブ事務所の設置であるが、どなたでも自由に利用できる公園において、特定の団体等が占有する事になるような施設の設置は、認められないという事である。公園機能が失われてしまう、或いはかつてそういう御要望も多くの地区で頂いたが、空き家などを活用して頂いている所もある。公園は難しいという事であるため、御理解をいただきたい。

また元今泉7丁目公園であるが、近くにお住いの方には、最も近い対象であって、そして休息が出来るようなコンビネーション遊具、また健康遊具などに加えて、四阿も備えられているため、熱中症等対策、予防に、御活用いただきたい。

また宇都宮市では、国の熱中症対策を踏まえ、迅速な情報伝達や予防行動の呼びかけの徹底など、熱中症対策の強化を行う事としたところである。今後、活動に取り組まれる場合には、暑い時期を避けた実施の検討や、適切な熱中症対策の徹底についても御協力をお願いしたい。

将来、こういう暑さが続くと、8月、或いは何度以上の時には、外出禁止令も起きてくるかもしれない。いずれにしても、細心の注意を払っていただくようお願いしたい。

■地域代表意見 2（要旨）

テーマ	泉が丘中学校の校庭内にある屋外トイレの新築を要望
-----	--------------------------

宇都宮市内で唯一、小学校と中学校が隣接している地域である。また、地域活動が盛んな地域でもある。

現在ある、屋外トイレの設置場所であるが、地域住民の生活道として利用しているプロムナードにあり、地域の住民、小学生、中学生にとって屋外トイレは必要不可欠な設備である。

現在、使用不可の状態が続いており、ここ数年は中学校が繰り返し修繕をしてきたが、設置から30年余りが経過しており、建物本体・便器等の耐久年数が過ぎていることが考えられる。

中学校より学校管理課に修繕依頼もしてきたが、根本的理由として、屋外トイレの周りの木が大木となってしまう、排水管を損傷させている可能性がある。原因を調べて、抜本的対応をお願いする。

小学生・中学生・地域住民にとって、屋外トイレは、地域活性に必要な大切な事である。バリアフリーを前提とした、誰もが利用しやすい多目的トイレや、利用人数にあった洋式トイレ、防犯に配慮した自動点灯等の設備がある屋外トイレの新築を強く要望する。

トイレの完成後には、地域・小学校・スポーツ団体等、利用者が自主的に管理をし、使い勝手の良い屋外トイレを維持したいと考えている。

回答	所管課：学校管理課
----	-----------

【市長】

どの学校もPTAの皆さん、特に役員の皆さん、大変苦勞されていると思う。我々もきちんと把握をしている。教育委員会任せでなく、しっかり対応していきたいと思う。

小学校と中学校が同じ敷地にあるのは、宇都宮市にはここしかありません。小学校の児童数、そして中学校の生徒数ともに、マンモス校になっていると思う。この狭い宇都宮でも、少子化により子どもが少なくなっている。何とか食い止め、宇都宮市始まって以来の廃校、または統合がないよう、今、一所懸命苦勞し、対応・対策を取っているところである。

御意見を頂いた泉が丘中学校の屋外トイレであるが、本年2月から使用できない状況となっているという事で、大変御不便をおかけしている。

私もかつて使わせて頂き、本当に皆さんが訴えるような状況である。更地にして新築というのは無理であるが、小便器も併せ、ほぼ新築に近い状況で、要望通り全ての便器を洋式に取り替える。また、手洗い部分も全部直し、外の壁も塗り替え、見た目は全部新築になっているような状況に変えていきたいと思

う。

時期であるが、今回まちづくり懇談会で要望頂いたため、秋祭りが11月10日にあるという事で、その時には利用頂けるようにしていきたいと思う。

10月20日の体育祭に間に合えばと思っているが、努力をし、皆さんに少しでも衛生的に、そして安心して使って頂けるトイレに変えていきたいと思う。

■ 地域代表意見 3（要旨）

テーマ	宇都宮市福祉協議会に係る事業等の見直しについて
-----	-------------------------

現在、地域における社会福祉活動については、地域住民から選出された民生委員と社会福祉協力委員により、1人暮らしの家庭、高齢者等の見守活動を中心とした事業を展開している、そういう中で問題があると判断された地域住民に対しては、地域の包括支援センターとの連携・意見交換等を行いながら、それぞれの事案に対処しているところである。

ただ、超高齢化社会の進展による、労働者不足に伴う就労年齢の引き上げ、それと地域役員の高齢化が進んで、特に75歳の定年制が敷かれている民生委員については、なり手不足等により、今後の存続が危ぶまれる自治会がどんどん出てくるのではないかと危惧されるところである。

また、超高齢化社会において、高齢者等に対する社会福祉問題は避けて通れない現実であり、現在のまま地域住民主体の福祉活動や、市の委託事業により運営されている「地域包括支援センター事業」のみでは、これからの超高齢化社会に対応しきれぬのかどうか、甚だ疑問を感じているのが現実である。

私は常々、市が出資し、地域住民を会員とする「社会福祉協議会」が、これからの地域の社会福祉活動における中心となる組織ではないかと考えているところである。

社会福祉協議会は、設立から約100年が経過していると思う、現在の生活様式の変化や地縁組織の繋がりの弱体化など、地域生活環境を取り巻く環境が著しく変化しているところである。現在の市施設の指定管理や募金活動を中心とした社会福祉協議会の業務内容を継続するだけでは、組織を支える会員、会員がメリットを全く感じられず、会員離れが進むと考えている。

この様に市の社会福祉協議会については、組織における約款等の見直しや、国や県・社協との関係などの役割分担について、難しい問題が多々あるとは思いますが、地域住民、特に高齢者にとっては大きな問題である為、地域社会福祉の安定的な継続と充足を図る為にも、市の社会福祉協議会・審議会などにおいて、これからの市社協の在り方などについて、検討して頂き、より良い地域社会福祉に貢献できるような組織にして頂ければと考えている。

社会福祉について、私なりに意見を述べさせていただいた。

回答	所管課：保健福祉総務課
----	-------------

【市長】

これからの高齢化社会・少子化時代の本質を見抜いて、社会福祉協議会の在り方を指摘いただき、もっともな意見だと、感銘を受けた。

市としては、この高齢化社会は正直乗り切れると思っている。今の、この発

展ある社会、景気が悪いとか、デフレからインフレ、物価が高騰してるとはいえ、世界の中では豊かな国である。これも高齢者の皆さんが、若いころに汗水たらして懸命に働いて頂いたお蔭である。その社会をこれからも持続出来るように、高齢者の方が不安を持たずに明るく夢を持って選択できることが、我々現役の役割・使命だと思っている。

指摘のあったとおり、社会福祉協議会も100年が経ち、そして社会福祉法に規定されている通り、地域福祉の推進を図る事を目的とした団体である。当初は今ほど高齢化社会ではなかった。先進国並みの高齢者に対する豊かな福祉というのを目指していたと思う。緩やかであったと思うが、これからはそうはいかないため、市役所も社協と一緒に、高齢化社会をしっかりと迎え撃つ、そういう姿勢で行って参りたい。

社会福祉協議会には、昨年策定された『第5次宇都宮市地域福祉活動計画』という計画がある。この計画の策定にあたっては、地域福祉活動の担い手の発掘や育成また複雑化・複合化した問題に対する仕組み作りなどの課題の解決に向けて、宇都宮市社会福祉審議会と同様に、学識経験者、ボランティア団体、社会福祉団体など様々な立場の方が幅広く参加し、御意見を頂いたところである。

この計画において、社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な組織としての役割を担って、地区社会福祉協議会などの地域の団体をはじめ、本市や関係機関やボランティア等と連携しながら、誰もが住み慣れた地域や家庭で、心豊かな生活が送れるよう、共に支え合い助け合う福祉のまちづくりの実現を目指している。

基本目標として「福祉のこころをはぐくむ人づくり」「共に支え合う地域作り」「安心して暮らせる福祉の基盤づくり」の3つを定め、高校・大学等との連携による担い手の養成や、市と商工会議所、社会福祉協議会で行っている善意銀行、子ども食堂等に対して支援をしたいという方が、たくさんいるが、どこに支援をしていいのかわからない、どこを窓口にしたらいいのかわからない、協力をしたい、汗をかきたい、いろんな要望がある。それらの窓口とし、初めて市と社会福祉協議会と商工会議所で作った1つに善意銀行とし、お金は社会福祉協議会が管理をし、必要な施設にお金をしっかりと届けるような事も行っている。

ただデジタル等を活用した地域高齢情報の発信などの取組を様々な関係者と連携しながら、社会福祉協議会が積極的に実施している。

今後とも地域における社会福祉の充実に向け、社会潮流や市民生活の変化、そういったものを的確に捉え、宇都宮市社会福祉協議会と共に宇都宮市の福祉というのを担っていきたいと思う。これからも特に地域の社協の皆さん、一番現場を知っている方々であるため、ともに情報を交換しながら、我々が的確に力を発揮できるよう、指導頂ければと思う。

■自由討議（要旨）

発言 1	新型コロナ特別定額給付金支給時期について
------	----------------------

新型コロナの感染の関係について、日本全体が初めての大きな問題で、大変な事だったと思う。全国的に1人10万円（特別定額給付金）を生活の為に支給する事があった。県内もそれぞれの自治体が、10万円ずつ配布した。

特に母子家庭、季節性職人は職を失い実際、経済的に追い詰められて、本当に大変な生活している人がたくさんいた。宇都宮市が10万円を支給したのは県内25市町村の中で、一番遅い。10万円に限らず、いろいろな面で宇都宮市が一番最後である。何故一番遅いのか。非常に疑問に思う。生きるか死ぬかの家庭の人は、経済的にも病院に行けない。早く支給すれば一時的ではあるが非常に助かる。

そのような状況を分らないのか。最後になった理由を説明するべきである。ギリギリで生活している人は沢山いる。8月3日下野新聞、ひとり親家庭の子どもが夏休み中に1日2食で過ごしている家庭が34%もいる。何故、宇都宮は遅いのか、理由を何故説明しないのか、教えていただきたい。

回答	所管課：行政経営課
----	-----------

【市長】

支給状況を見ても、宇都宮市が一番遅くはない。人口が多くても手続き等は早い方である。

1番とか2番というのがいいが、人口が多いという事もある。先ず、国から様々な補助金が出て、それにより手続きのシステムなども全て変えなくてはならない。そこから作業が始まるが、決して1番最後ではない。

生活に困っている方は、生活保護の相談など、しっかりとコロナ禍においても対応をしている。優先順位なども考え対応している。

発 言 2	道路混雑の解消について
-------	-------------

ＬＲＴが開通したが、私の住んでいる地区から停留所に行くまでに時間が掛かる。横のつながりがないため、停留所まで２０分程かかる。

越戸通りと、白楊通りが朝夕凄く混雑する。道路の混雑が解消できればと、お願いしたいところである。

メイン通りが混雑するため、脇の通りを走る事になり、地域の子ども達が利用していることから、事故が起きたら大変だと思う。これは緊急の問題ではないと思うが、出来ればよろしくお願いしたい

回 答	所管課：技術監理課
-----	-----------

【市長】

本市の特徴である３環状１２放射状の道路の整備を進めている。

交通渋滞箇所であるが、産業通りの拡幅がまだ終わっていないため、拡幅をこれからも継続して行っていく。渋滞箇所の対策を講じても、渋滞箇所が移動するだけで、根本解決にはならない。

公共交通利用者を増やしていく事も重要であるため、交通渋滞対策と併せて公共交通の利用促進も継続して行う。

また、日によって渋滞する時間等が変わるため、信号の時間調整等、警察と連携を取っていきたいと思っている。

発 言 3	泉が丘中学校の校庭内にある屋外トイレについて
-------	------------------------

学校の手洗いの回答頂いて、市長より11月10日の泉が丘地域まつりに間に合わせてくださるという事で、もちろん、行政も現場を見て歩いていると思うが、本当に木が茂っているため、変えたとしても配管の方が痛んで、また悪くなるかもしれない。今回新築してほしいというのは、あそこまで汚くなったトイレは、地域住民、子ども達も見ていて、新規一転、綺麗な大きな現代的なトイレにし、各団体が皆で順番に掃除をしていき維持をしていきたいというのがある。今回は全面リフォームという事で、万が一配管が悪かった時は、新しい適切な土地、校庭の他にもあると思うが、中学校600人超え、小学校も700人は優に超えていると思いますので、地域住民もそれなりにいるので、そこを忘れず、駄目な場合は新築にしていきたいと思う。

回 答	所管課：学校管理課
-----	-----------

【市長】

他の小学校、中学校でも最近見受けられるが、年数が経過し木が大きくなっている。倒木の危険性や根が張り過ぎて、子どもが転倒する事もあるため、ある程度大きくなった木は、伐採している学校もある。今後も、学校のPTAや地域の皆さんからいただく情報も踏まえながら、対応していければと思う。